

2022 度 第 1 回 防災委員会議事録

開催日時：2022 年 7 月 30 日（土） 14：00～17：00

開催場所：商工会議所 4 階 405 号室及び（Zoom）併用会議

会場参加者：味澤泰夫・梅田和久・持田拓児（3 名）

WEB 参加：有村研一・池田圭一・石本俊亮・岡田裕彰・緒方正隆・箴島秀利・北里憲章・中田敦也・西井康浩・松本義信・南嶋佳典・宮本修・八百屋さやか・荒川直樹・中村勲・樗木秀人（鹿児島県支部）（16 名）

欠席者：香月裕宣・田辺努・寺田利博・久富浩明（4 名）

【議事内容】

1. 防災委員による発表会と質疑応答

講師：南嶋 佳典 様

「公共土木施設災害復旧事業について」

【発表内容】

- ・災害復旧制度の目的と沿革
- ・災害復旧事業の概要
- ・TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の紹介
- ・災害復旧技術専門家派遣制度の紹介
- ・熊本県での橋梁災害関連事業の紹介

【質疑応答】

Q1（西井氏）：原形復旧以上の復旧は可能なのでしょうか？

A1（南嶋氏）：原形復旧で、更なる被害が出る恐れがある場合、可能。

Q2（西井氏）：事業費の増額は国費でしょうか？

A2（南嶋氏）：認められれば国費。

Q3（池田氏）：地すべり災かどうか大学の先生等の有識者に現地を視察及び「ドクター現地診断記録」を作成していただき、それを提出することが最近多くなっています。この経緯をご存じであれば教えてください。

A3（南嶋氏）：判断が難しい場合は、求められることが多くなっている。

2. 新委員の方の紹介

新委員である緒方正隆様より自己紹介を実施していただいた。

3. これまでの防災委員会の振り返りと今後の活動について

1) 前回の議事録確認

- ・「前回の議事録（案）」を表示のうえ、修正点がないか確認を行った。

- ・修正点がないため、ホームページにアップする。

2) 防災委員会の会則

- ・「会則」を表示のうえ、確認を行った。
- ・詳細については、ホームページにアップされているので、各委員の確認依頼を行った。
- ・修正等、変更点があれば、委員長へ連絡する。

【質疑応答】

Q1 (西井氏) : 「第3条 委員会の構成及び任期 4. 顧問」について、倫理委員会では「地域組織の設置運営に関する規則」の第23条4項に順じて顧問は外部有識者としている。防災委員会でも顧問は外部有識者としてはどうか？

A1 (持田氏) : 現在の防災委員会では、元委員長や委員を対象に考えているが、今後は、外部顧問も必要に応じて就任していただいとうと思う。

Q2 (西井氏) : 「第4条 委員会の開催 3. 委員会会議の運営 (4)」について、現在のよう詳細な議事録をアップした場合、著作権の問題や秘密保持の問題などが発生する可能性があるため、概要版を作成してアップしてはどうでしょうか？例えば、倫理委員会では概要版をアップしている。

A2 (持田氏) : 現在の議事録については、作成後、メーリングリストにて全員による閲覧確認を行い、問題がある場合には修正している。今後も、事前チェックを行ってからアップするようにして、概要版の作成は行わないこととする。但し、問題が発生した場合は、防災委員会で話し合い、今後の対応を考える。

3) ML (メーリングリスト) の使用方法

- ・「1. 九州本部防災委員会メーリングリストの使用方法」を表示のうえ、確認を行った。

【質疑応答】

Q1 (味澤氏) : 手順はどのようにおこなうのですか？

A1 (持田氏) : ~手順の説明を行った~

4) 防災委員会の組織図

- ・「防災委員会の組織図」を表示のうえ、説明をおこなった。

5) 防災委員会活動年間スケジュール案

- ・「令和3年度 九州本部防災委員会 年間スケジュール実績表」及び「令和4年度 九州本部防災委員会 年間スケジュール予定表」を表示のうえ、確認を行った。

4. 各WGについて

- 1) WG1 : 「災害リサーチチーム」の進捗報告 (南嶋氏より)

- ・WG2の石本氏が中心となり、感田小5年への防災教育授業を進める。
- ・直方市（できれば感田小校区）の災害記録に関する資料収集・作成を引き続き行う。
- ・2022年8月までに資料収集を行う。
- ・2022年9月中旬をめどに授業の資料作成を行う。
- ・2022年10～11月ごろ防災教育授業を感田小学校で行う。
- ・浸水実績の区域図を北里氏に依頼する。
- ・資料の取りまとめは、南嶋氏が行う。
- ・南嶋氏よりH13.6.19の水害資料の説明があった。

2) WG2:「災害リスク管理チーム」の進捗報告（石本氏より）

- ・WG3の報告に基づき、資料作成を行う。
- ・授業内容としては、災害の素因（地形条件等）から理解を深めようと考えている。
- ・今後、安全な場所の把握を行う。
- ・危険な場所を地図に落とす作業を行う。
- ・石本氏より、ここまで収集した資料でどのような授業にするか概要の説明があった。

3) WG3:「災害サポートチーム」の進捗報告（持田氏より）

- ・これまでの活動報告と6月24日の感田小学校での授業に対する生徒、先生方、参加技術士のアンケートの回答を紹介。
- ・2022年9月に感田小の先生との反省会のセッティングを行う。（北里氏）
- ・今後、5年生への授業の打ち合わせを行う。

【意見交換】

- ・先生で授業を行ってもらえるようにできないか？
- ・先生は、異動があるので厳しいのでは？（石本氏）
- ・地域に任せては？（石本氏）
- ・自主防災組織に任せては？（樗木氏）
- ・今後、先生や地域の方など、防災授業を引き継いで貰えるように、協議が必要だと考える。また、防災委員会の中でも議論していくことが必要と考える。（持田氏）
- ・当初の目的は、先生に防災授業を引き継いでいただき、転勤先で広げていっていただけを期待して始めている。（持田氏）
- ・授業の振り返りは、なるべく早い段階で行う。（北里氏）
- ・WG2は、10月の防災教育授業の開催で調整を行う。（石本氏・北里氏）

5. その他報告・連絡事項（持田氏）

- 先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022 の活動開始
- ・「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022 の活動」について、報告がなされた。

- ・実行委員に参加を希望する方は、委員長の方まで連絡する。

- 全国防災連絡会議及び他本部の活動紹介について

- ・「全国防災連絡会議及び他本部の活動紹介」について、報告がなされた。

- 次回の拡大委員会（9/17）で議論すべき項目について

- ・2022年1月のアンケート調査で検討した「地域の特性を把握するための有効な情報確認として、地域に残る災害文化や避難に役立つ歴史的施設の情報収集について」、各県でどのようなものがあるのか、各県支部防災担当者の方に確認してもらい、今後各県支部の防災・減災に活用できるよう議論を進めたい。（持田氏）

- ・統括本部防災支援委員会でSAPD（災害時支援活動計画）が作成された。今後、九州本部版、各県支部版の作成を統括本部より依頼されるため、現状の把握と今後の取り組みについて議論を進めたい。（持田氏）

- ・そもそも、SAPDは発災時に技術士会自体が被災して、「技術士会内部で連絡が取れない状態」や「技術士会の活動ができない状態」では問題だ、ということが発端で作成に至った経緯がある。（持田氏）

- ・拡大委員会で議論すべき項目をもう少し整理し、各県支部防災担当者にメール配信し、事前準備を行う。（持田氏）

- 月刊「技術士」地域本部の新企画連載について

- ・地域の声を全国にという主旨で月刊「技術士」に連載を行う。

- ・防災委員会の活動を紹介する。

- ・作成は、各WG長と防災委員長で基本的に行い、進捗等は防災委員会のメールで確認しながら作成する。

- 防災委員による発表者と広報委員会からの寄稿対応者の決定

- ・「防災委員による発表者と広報委員会からの寄稿対応者」については、委員長より直接依頼を行うので、ご協力をお願いします。

- 次回の運営委員会は拡大委員会と兼ねて、令和4年9月17日（土）14時～17時開催

- ・第1回防災委員会同様、商工会議所とWEB併用で開催を予定する。

議事録作成者：北里（2022年8月1日）